

【青森県深浦町】

校務 DX 計画

文部科学省が令和5年9月に実施した「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」の自己点検結果に基づき、下記のとおり取組を行い、校務 DX の推進を図る。

(1)クラウドサービスの活用

本町では、クラウドサービスについて「Microsoft365」を活用している。自己点検結果から、「職員会議等の資料をクラウド上でペーパーレス化していますか」、「児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか」等の設問では実施率が高く校内でのクラウドサービスの活用は進んできている結果となった。一方「児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか」、「業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか」等の設問では実施率が低く、保護者を対象とした活用には課題がある結果となった。そのため、学校・保護者間の連絡ツールを導入し、学校から保護者への連絡配信や保護者からの欠席連絡等をデジタル化し、教職員の業務負担の軽減と保護者の利便性の向上を図る。また、校務用PCの更新に合わせて「Microsoft365 A3」を導入し各授業や校務における汎用クラウドツールのさらなる活用を推進していく。

(2)次世代校務支援システムについて

青森県教育委員会と連携し、次世代校務支援システムの導入に向けて連携を図る。

(3)FAX・押印の原則廃止について

FAX・押印の原則廃止は校務の効率化・教職員の働き方改革のための重要な要素となる。そのため、緊急連絡等 FAX の方が効率的な場合を除き、FAX 及び押印の原則廃止に向けて検討を行う。